鏡川流域

いきもの図鑑 をつくろう

2024

2024年8月1日から8月31日の期間、スマートフォンアプリ「Biome（バイオーム）」を使って、鏡川流域に生息・生育する動植物の分布調査を行いました。市民の生活の源になっている鏡川には、どんないきものが暮らしているのでしょうか？

また、調査期間中、鏡川流域の各所にて、地域の皆さまと合同で調査を行うイベントも開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

発見した数 950件

発見した種数 422種類

イベントレポートの詳細はこちら！

※上記の数値は調査期間内にアプリ「Biome（バイオーム）」にクエスト対象エリアから寄せられた全投稿を集計したものです。
※発見した種類は、アプリ「Biome（バイオーム）」のデータベース上での分類に基づき集計しています。分類（科および目）レベルの投稿は別種として集計し、種名が確定しなかった投稿（質問投稿）は種類の集計に含まれておりません。
※種名登録はアプリユーザー自身によるもののため、一部不確かなものが含まれている可能性があります。

イベント① 鏡川の自然を満喫しながら調査！

鏡川の中流に位置する宗安寺で、高知大学サークル「野生生物研究会」と高知大学同好会「いきものや」の学生さんと一緒に、河川上流から中流に暮らすいきものたちの調査を行いました。

岩陰をガサガサしたり、網で魚や水生生物を捕まえたり、河川周辺の植物を観察したりと、自然を満喫しながら調査しました。鏡川を遊びながら学ぶ、貴重な機会となりました。

イベント② 親子で川の恵みを楽しもう！

市内在住の親子を対象に、鏡川での水生生物調査イベントを行いました。網やバケツを使って水生生物を採集し、大きな水槽に入れて観察会をしました。お昼にはアユの塩焼きなどの昼食会を行いました。

鏡川ではカワウやアオサギも見られます。これらの鳥は、アユを捕食し、水産被害につながるため、対策が必要になっています。有害鳥獣や外来種なども観察し、一緒に考えてみましょう。

イベント③ 鏡川上流域を散策しながら調査！

鏡川上流域の鏡吉原では、楽しみながら自然を感じられる散策イベントと並行して調査を実施しました。下流域では見かけないような動植物に、参加者の皆さまの興味も膨らみました。

鏡吉原では、きれいな川の水質階級の指標となるサワガニが何匹もいるなどの発見がありました。参加者同士で会話をしながら鏡吉原の自然に触れ、川の見方を深めることができました。

鏡川 2024 いきものマップ

本ページでは、鏡川のおすすめの自然エリアと、そこで発見された注目のいきものを解説しています。

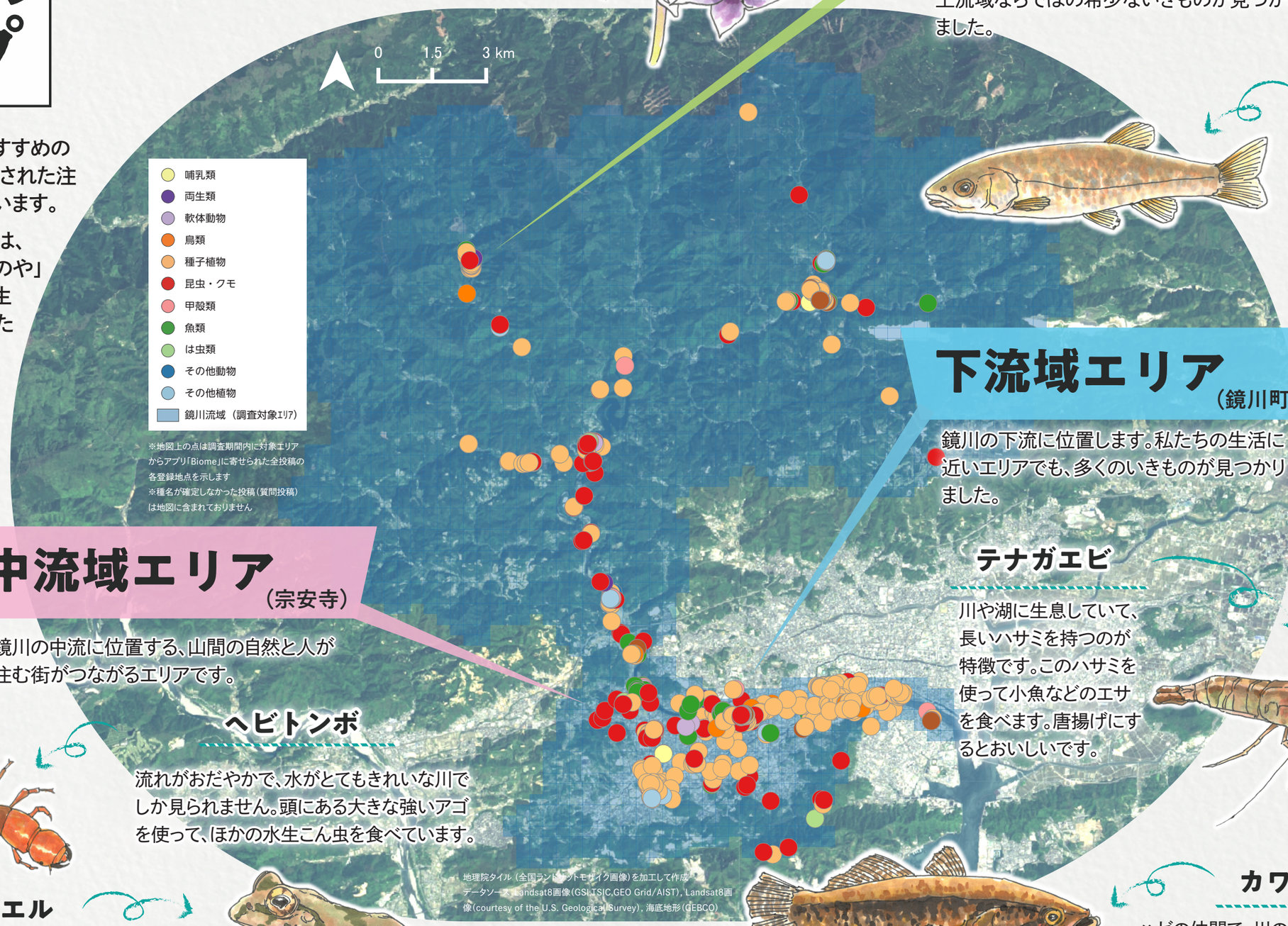
イラストと解説文の制作は、高知大学同好会「いきものや」と高知大学サークル「野生生物研究会」にご協力いただきました。

いきものや（Instagram）

野生生物研究会（Instagram）

イワタバコ

水辺のしめった岩に生える植物です。夏になると、星の形をしたむらさき色の花をさかせます。葉はおひたしや天ぷらとして食べることができます。



※地図上の点は調査期間内に対象エリアからアプリ「Biome」に寄せられた全投稿の各登録地点を示します
※種名が確定しなかった投稿（質問投稿）は地図に含まれておりません

地理院タイル（全国ランドサットモザイク画像）を加工して作成
データソース：Landsat8画像(GSI,TSIC,GEO Grid/AIST)，Landsat8画像(courtesy of the U.S. Geological Survey)，海底地形(GEBCO)

上流域エリア（鏡吉原）

鏡川の上流に位置する自然豊かな里山です。上流域ならではの希少ないきものが見つかりました。

タカハヤ

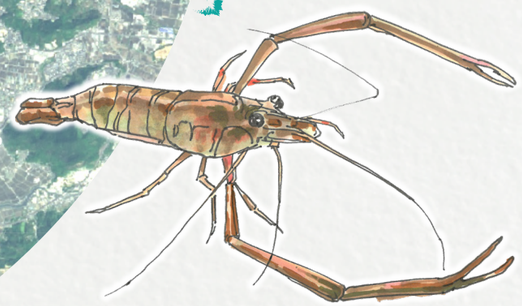
川の上流の、流れのおだやかな浅い場所に生息していて、ふだんは草や岩にかくれています。体はこげ茶色で、さわるとヌルっとしています。

下流域エリア（鏡川町）

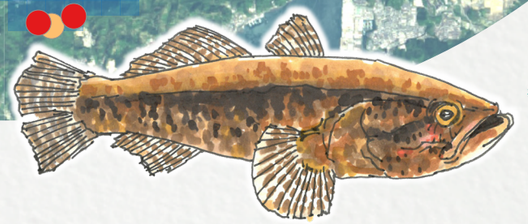
鏡川の下流に位置します。私たちの生活に近いエリアでも、多くのいきものが見つかりました。

テナガエビ

川や湖に生息していて、長いハサミを持つのが特徴です。このハサミを使って小魚などのエサを食べます。唐揚げにするとおいしいです。



カワアナゴ



ハゼの仲間で、川の下流から河口に生息していて、昼間は砂の中や石のかげにかくれています。高知県では「イシモチ」とも呼ばれます。

中流域エリア（宗安寺）

鏡川の中流に位置する、山間の自然と人が住む街がつながるエリアです。

ヘビトンボ

流れがおだやかで、水がとてもきれいな川でしか見られません。頭にある大きな強いアゴを使って、ほかの水生こん虫を食べています。

カジカガエル

山の中の川や湖の周りに生息しています。体は灰色で、背中にブツブツがあります。夏になるとフィー、フィーと美しい声で鳴きます。

制作：高知市新エネルギー・環境政策課　監修：株式会社バイオーム　協力：高知大学同好会「いきものや」、高知大学サークル「野生生物研究会」